

★ 200mでの優勝争い

山崎は安定していた。決勝は最初から飛ばし、果敢にトップを狙う。

3位以内は確実だが、惜しくも100mの勝者に逃げ切られた。

21秒94の自己新記録だ。

見ていて「ちょっと力が入ったかな」とも思った。

いっしょに見ていた石川謙一も

「でも昨年よりずいぶん走りが変わってきましたね」

自分の春高歴代順位を山崎が抜いた〜っと笑っていた。

まだ二年生の山崎。

来年の埼玉インターハイへのレースはもう始まっている。

3年の鈴木も100m200m共に自己新記録をマークした。

関東ではリレーに専念できる。

勢いにのれば佐賀だって夢ではない。

一学年先輩達があまりにも屈強であったため、

今年は思いっきり関東を楽しんで走ってもらいたい。



★ 3000SC再び決勝へ

日曜日に行われた3000mScでは新人に続き決勝をねらう。

丸山は積極的に先頭グループについていった。

ねばって4着で決勝進出を決めた。

12秒もの自己記録更新を果たした。

平林は中団に位置したが、先頭集団がペースアップし

9着となり決勝進出を果たせなかった。

9分台の力があつたが、県大会は

思うようなレースをさせてくれない厳しいものであつた。

高跳びは1m85を一回で越えたものまでが

関東への切符を手に入れる内容であつた。

1m75から始まり、いきなり自己記録に近いところからの開始となるため、

佐野、山本はおしくもペースをつかむことはできなかつた。

やはり県大会は、自己記録との比較のみでは戦えない難しさがある。

どの種目にも同様に厳しい大会である。いつもながら痛感した。

